



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 日油株式会社

上場取引所 東

コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 明治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金万 敬一

TEL 03-5424-6600

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	116,694	7.3	10,812	28.5	12,671	33.5	8,237	43.2
25年3月期第3四半期	108,787	△3.4	8,412	△4.9	9,490	△0.6	5,750	△11.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,828百万円 (136.7%) 25年3月期第3四半期 5,419百万円 (16.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	44.91	—	
25年3月期第3四半期	31.35	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	175,768		114,202			64.6
25年3月期	164,007		103,674			62.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 113,471百万円 25年3月期 102,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,500	5.8	13,800	11.8	14,500	6.3	9,500	8.1	51.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	186,682,752 株	25年3月期	186,682,752 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,385,936 株	25年3月期	3,232,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	183,422,509 株	25年3月期3Q	183,465,948 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間）におけるわが国経済は、政府の経済対策等により緩やかな回復傾向にありました。海外経済は、中国の成長率に鈍化がみられたものの、欧州の景気持ち直しの兆しや米国の堅調な回復に支えられ全般に底堅く推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内需要家に生産の持ち直しの動きがみられ、北米やアジアなどの海外需要も比較的堅調に推移しましたが、原燃料価格においては高止まりの状況が継続いたしました。

このような事業環境下において、当社グループは、2013年度を最終年度とする「2013中期経営計画」の基本方針である「技術開発力の強化」、「海外事業展開の加速」を推進するとともに、高機能・高付加価値製品の拡販、生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、116,694百万円と前年同期比7.3%の増収、営業利益は、10,812百万円と前年同期比28.5%の増益、経常利益は、12,671百万円と前年同期比33.5%の増益、四半期純利益は、8,237百万円と前年同期比43.2%の増益となりました。

①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、国内外ともに需要が底堅く推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

界面活性剤は、トイレットリ関連の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド誘導体は、土木建築向け製品や輸出の増加などにより、売上高は増加しました。

有機過酸化物は、国内およびアジアでの需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

機能性フィルム・電子材料は、中小型ディスプレイ向けの需要が増加しましたが、大型ディスプレイ向けの需要が減少し、売上高は減少しました。

特殊防錆処理剤・防錆加工は、アジアでの自動車向けの需要が好調であったため、売上高は増加しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、74,428百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は、7,314百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂を中心に拡販したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

機能食品関連製品は、大手需要家への出荷が低調であったことから、売上高は減少しました。

生体適合素材であるMPC（2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン）関連製品は、アイケア、化粧品および医療関連向けの出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

DDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料は、PEG修飾剤の欧米大口需要家への出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、17,989百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は、2,231百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

③化薬事業

産業用爆薬類は、公共事業投資が堅調に推移し、前年同期に比べ売上高は増加しました。

宇宙関連製品、防衛関連製品は、出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、23,331百万円（前年同期比11.8%増）、製品構成の影響もあり営業利益は、1,817百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、945百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益は、107百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ11,760百万円増加し、175,768百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加2,700百万円、棚卸資産の増加2,645百万円、有形固定資産の増加1,722百万円、投資有価証券の四半期末時価評価等による増加5,841百万円、売上債権の減少1,129百万円等であります。

負債は、前期末に比べ1,232百万円増加し、61,565百万円となりました。負債の増減の主な内容は、買入債務の増加2,607百万円、繰延税金負債の増加1,995百万円、有利子負債の減少2,016百万円、賞与引当金の減少1,412百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ10,528百万円増加し、114,202百万円となりました。純資産の増減の主な内容は、当第3四半期累計純利益8,237百万円、為替換算調整勘定の増加983百万円、その他有価証券評価差額金の増加3,574百万円、配当による減少2,201百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当初予想（平成25年5月9日発表）に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

従来、非連結子会社でありましたNOF AMERICA CORPORATIONは、重要性が増加したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,965	9,665
受取手形及び売掛金	34,274	33,145
商品及び製品	17,296	18,841
仕掛品	3,809	4,571
原材料及び貯蔵品	8,580	8,919
その他	4,655	4,560
貸倒引当金	△223	△248
流動資産合計	75,358	79,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,364	21,090
土地	19,640	19,656
その他（純額）	13,238	15,219
有形固定資産合計	54,243	55,966
無形固定資産		
その他	596	811
無形固定資産合計	596	811
投資その他の資産		
投資有価証券	27,298	33,139
その他	6,559	6,447
貸倒引当金	△48	△52
投資その他の資産合計	33,809	39,535
固定資産合計	88,649	96,312
資産合計	164,007	175,768
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,218	21,871
電子記録債務	1,492	1,447
短期借入金	3,100	1,434
1年内返済予定の長期借入金	462	156
未払法人税等	3,098	1,982
賞与引当金	2,919	1,506
その他	10,165	11,304
流動負債合計	40,458	39,704
固定負債		
長期借入金	8,044	8,049
退職給付引当金	4,113	4,135
その他	7,717	9,675
固定負債合計	19,875	21,860
負債合計	60,333	61,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,113	15,113
利益剰余金	64,593	70,630
自己株式	△1,263	△1,370
株主資本合計	96,185	102,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,025	11,600
為替換算調整勘定	△1,227	△243
その他の包括利益累計額合計	6,798	11,356
少数株主持分	691	730
純資産合計	103,674	114,202
負債純資産合計	164,007	175,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	108,787	116,694
売上原価	79,403	84,315
売上総利益	29,384	32,378
販売費及び一般管理費	20,971	21,566
営業利益	8,412	10,812
営業外収益		
受取利息	42	87
受取配当金	645	656
為替差益	65	802
その他	684	662
営業外収益合計	1,437	2,208
営業外費用		
支払利息	100	64
不動産賃貸費用	73	69
固定資産撤去費用	52	98
その他	134	115
営業外費用合計	360	348
経常利益	9,490	12,671
特別利益		
投資有価証券売却益	4	34
固定資産売却益	4	12
その他	0	—
特別利益合計	9	47
特別損失		
固定資産売却損	0	36
固定資産除却損	33	26
土壌調査費用	—	99
投資有価証券評価損	476	—
その他	46	—
特別損失合計	556	162
税金等調整前四半期純利益	8,942	12,556
法人税等	3,184	4,302
少数株主損益調整前四半期純利益	5,758	8,253
少数株主利益	7	16
四半期純利益	5,750	8,237

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,758	8,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288	3,575
為替換算調整勘定	△50	1,000
その他の包括利益合計	△338	4,575
四半期包括利益	5,419	12,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,412	12,795
少数株主に係る四半期包括利益	7	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	機能化学 品事業 (百万円)	ライフサ イエンス 事業 (百万円)	化薬事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	69,545	17,237	20,864	107,647	1,140	108,787	—	108,787
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	1,398	10	1,471	5,292	6,763	△6,763	—
計	69,607	18,636	20,875	109,118	6,432	115,550	△6,763	108,787
セグメント利益	5,910	1,957	1,180	9,049	103	9,153	△740	8,412

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△740百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△746百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	機能化学 品事業 (百万円)	ライフサ イエンス 事業 (百万円)	化薬事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	74,428	17,989	23,331	115,748	945	116,694	—	116,694
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	457	1,522	9	1,989	5,480	7,469	△7,469	—
計	74,885	19,511	23,340	117,738	6,425	124,163	△7,469	116,694
セグメント利益	7,314	2,231	1,817	11,362	107	11,470	△658	10,812

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△658百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。